

Active Telnet Tool 2.0

Guide

Active Open Communications K.K

目次

目次	2
著作権について	3
ソフトウェア使用許諾契約書	4
はじめに	5
稼働環境	5
パッケージ内容	5
特徴	6
使用中のご注意	7
インストール方法	8
アンインストール方法	8
ユーザ登録	9
Lite 版の制限	10
使用方法	11
設定ダイアログ	17
スクリプティングインターフェース	25
Q&A	32
サポート窓口	33
リリースノート	33

最新情報やライセンスキー購入方法は <http://www.activeopen.co.jp> をご覧下さい。

Active Telnet Tool 2.0 Guide 2004 年 5 月 8 日

著作権について

このマニュアル及びマニュアルで解説するソフトウェアの著作権は、株式会社アクティヴオープンコミュニケーションズが全て保有しています。

著作権法により、ソフトウェア使用許諾契約書に記述された場合を除き、当社の書面もしくは電子メールによる許可無しに、いかなる形式（電子的・磁氣的・写真・録音・その他）にせよ、このマニュアル及びソフトウェアの全部または一部を複製・蓄積・送信することを禁じます。

複製が許可されている場合、オリジナルに添付されている所有権と著作権と同じ文書を複製物に添付しなければなりません。他の全ての登録商標は、それぞれの所有者の所有物です。

Active Telnet Tool は Symantec 社の Symantec C++8.0.4/THINK-C 8.0 Translator で開発されています。

Copyright (c) 1995-2004 Active Open Communications K.K. All rights reserved.

ソフトウェア使用許諾契約書

定義

本契約において次の用語は次の定義を有するものとします。

- ・ 「弊社」とは株式会社アクティヴオープンコミュニケーションズをいいます。
- ・ 「使用者」とは本パッケージを取得し使用する個人又は事業体をいいます。
- ・ 「パッケージ」とは、ソフトウェア、マニュアルおよびその他本契約に添付される品目をいいます。

許可される使用

弊社は下記に定める条項に従って、本パッケージのソフトウェアを使用する、譲渡不能の非独占的使用権を使用者に許可します。

- ・ 使用者は、一度に一台のコンピュータで本パッケージのソフトウェアを使用することができます。
- ・ バックアップ用として、ソフトウェアの複写を一部作成することができます。この複製物は自動的に弊社の所有権に帰属し、本契約に従うものとします。

禁止される行為

使用者が次の事項をなすことは禁止されています。

- ・ 使用者が一台のコンピュータで個人的に使用する場合を除き、ソフトウェアを改変し、またはそれを他のプログラムと併合すること。ソフトウェアの改変、併合された部分は本契約に従うものとします。
- ・ 弊社の書面による同意なしに、ソフトウェアに関する二次的開発物を翻訳、または作成すること。
- ・ ソフトウェアの著作権、特許権その他所有権の表示を取り外し、または判読不明にしたり変更したりすること。
- ・ ソフトウェアのリバース・エンジニアリング、ディスアセンブル、デコンパイル等をなし、ソフトウェアのソース・コードを解明しようとする事。
- ・ ソフトウェアの再使用許諾、販売、貸し出し（賃貸を含む）をすること。もし、使用者が本契約に違反した場合には、自動的に使用権許諾は無効となり、使用者は本パッケージに含まれるソフトウェア、マニュアルその他を弊社に返還するか破棄しなければなりません。
- ・ 使用者がライセンスキーをインターネット等に公開すること。

限定保証

弊社は、弊社が納得した時点において、ソフトウェアが最新のものであり、弊社の設定した仕様に一致していることを保証します。弊社は、ソフトウェアにバグ、エラー、および脱落がないことを保証しません。もし、ソフトウェアが上記の保証に一致しなかった場合には、弊社はディスク交換やアップデートを含む合理的な努力を尽くします。弊社は、本パッケージの使用に伴う、直接、間接の損失に関して何らの責任を負いません。コンピュータ・プログラムまたはデータの復旧、回復に要する費用を含めて、弊社の製品に記憶され使用されたコンピュータ・プログラムにつき、一切の責任を負いません。

APPLE COMPUTER, INC. ("APPLE") MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, REGARDING THE APPLE SOFTWARE. APPLE DOES NOT WARRANT, GUARANTEE OR MAKE ANY REPRESENTATIONS REGARDING THE USE OR THE RESULT OF THE USE OF THE APPLE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, CURRENTNESS OR OTHERWISE. THE ENTIRE RISK AS TO THE RESULTS AND PERFORMANCE OF THE APPLE SOFTWARE IS ASSUMED BY YOU. THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES IS NOT PERMITTED BY SOME STATES. THE ABOVE LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

IN NO EVENT WILL APPLE, ITS DIRECTORS, OFFICERS, EMPLOYEES OR AGENTS BE LIABLE TO YOU FOR ANY CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR INDIRECT DAMAGES (INCLUDING DAMAGES FOR LOSS OF BUSINESS PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION, LOSS OF BUSINESS INFORMATION, AND THE LIKE) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE APPLE SOFTWARE EVEN IF APPLE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. BECAUSE SOME STATES DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF LIABILITY FOR CONSEQUENTIAL OR INCIDENTAL DAMAGES, THE ABOVE LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

はじめに

この度は Active Telnet Tool (Lite)をお買い上げ（もしくはデモ版を試用して）いただき誠にありがとうございます。Active Telnet Tool は、Macintosh Communication Toolbox (C.T.B.) 用の Telnet コネクション (TCP/IP Telnet 通信) ツールです。

Active Telnet Tool OEM 版（カスタマイズ、サイトライセンス、貴社の商品へのバンドル等）も承っております。詳細は activeopen@mac.com 山田宛に電子メールでお問い合わせ下さい。

稼働環境

Active Telnet Tool を使用するためには、以下の環境が必要です。

- ・ Apple Macintosh Plus 以降の各機種（Power Macintosh を含む）
- ・ System 6.0.7 / Mac OS X 10 以降のシステムソフトウェア（Communication Toolbox ソフトウェア）
- ・ TCP/IP 接続環境（MacTCP 2.0.4 / OpenTransport 1.0 / Mac OS X 10 以降）
- ・ Communication Toolbox コネクションツールをサポートしている通信ソフトウェア

パッケージ内容

ファイル名	Active Pack.img	(Disk Copy イメージ)
パッケージ内容	Active Telnet Tool	(プログラム)
	Active Telnet Tool.pdf	(マニュアル)

特徴

- ・ 日本初のサードパーティによるTelnetツール

Active Telnet Toolは、Communication Toolbox用のコネクションツールであり、MacTCP / OpenTransportを使用してTCP/IP Telnetコネクションを容易に実現するツールです。

- ・ 信頼性・安定性を重視したActive Socket Libraryを使用

当社で開発した TCP/IPソケットライブラリの Active Socket Library を使用して TCP/IP Telnetプロトコルをサポートしていますので、安定した動作が期待できます。

- ・ PPPフレンドリな設計

PPPでインターネットに接続している場合、Active Telnet Tool 設定ダイアログ中でインターネットプロバイダにできるだけ接続しないよう考慮されていますので、オフラインでの設定がスムーズに行えます。

- ・ バイリンガルスクリプティングインターフェース

通信ソフトウェアからActive Telnet Toolに対して設定変更するための英語・日本語スクリプティングインターフェースをサポートしています。

- ・ バイリンガルダイアログをサポート

日本語 Mac OSで日本語ダイアログ・英語ダイアログを指定可能です。英語システムで起動した場合は自動的に英語ダイアログで表示されます。

使用中のご注意

- ・ 大切なデータは必ず保存してください。お客様が操作を誤ったり本製品に異常が発生した場合、データが消失することがあります。
- ・ 本製品の不具合による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品の使用により生じた損害については当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- ・ 本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・ このソフトウェアは著作権法及び国際条約により保護されています。

インストール方法

アーカイブファイルは、「ディスクユーティリティ」の圧縮されたディスクイメージフォーマットで配付されています。ファイルをダブルクリックしてイメージファイルをマウントして下さい。

- ・ System 6.0.7 / 漢字Talk 6.0.7の場合

システムフォルダ内の Communications Folderに Active Telnet Toolをコピーします。

- ・ System 7 / 漢字Talk 7 / Mac OS 8 / Mac OS 9の場合

Active Telnet Toolをシステムフォルダにドラッグしてインストールします。Active Telnet Toolはシステムフォルダの機能拡張フォルダに収納されます。

- ・ Mac OS X の場合

Classic で使用しているシステムフォルダにドラッグしてインストールします。Active Telnet Tool はシステムフォルダの機能拡張フォルダに収納されます。

アンインストール方法

システムフォルダの機能拡張フォルダ内の Active Telnet Tool と初期設定フォルダ内の ATT Prefs を削除して下さい。

ユーザ登録

Active Telnet Tool を初めて使用した時に、ユーザ登録ダイアログが表示されます。電子メールアドレスとライセンスキーを入力後、「OK」ボタンをクリックして下さい。



The image shows a dialog box titled "Active Telnet Tool ユーザ登録". It contains two input fields: "電子メールアドレス" (Email Address) and "ライセンスキー" (License Key). Below the input fields are three buttons: "デモ" (Demo), "キャンセル" (Cancel), and "OK".

電子メールアドレス

電子メールアドレスを半角で入力します。

ライセンスキー

ライセンスキーを半角で入力します。ライセンスキーは大切に保管して下さい。

デモ

デモモードで起動します。デモの制限事項は以下の通りです。

- ・ 制限時間は 5 分間です
- ・ Telnet オプション表示は使用できません

Lite 版の制限

Active Telnet Tool Liteは Active Telnet Toolと比較して以下の制限があります。

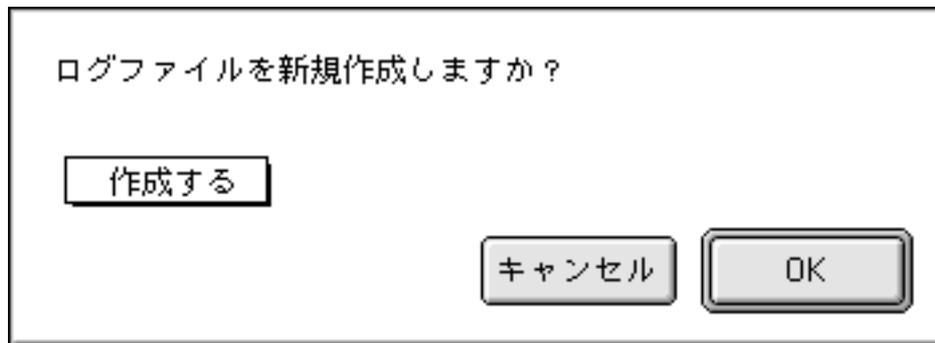
- Lite版のTelnet のセッション数はマシン1台につき、1セッションです。フルスペック版の場合、1アプリケーション内で最大8セッション、マシン1台につき、最大64セッション（MacTCPの制限による）です。
- 上級者モードアイテムの変更はできません。
- 上級者モード用スクリプトを使用できません。

使用方法

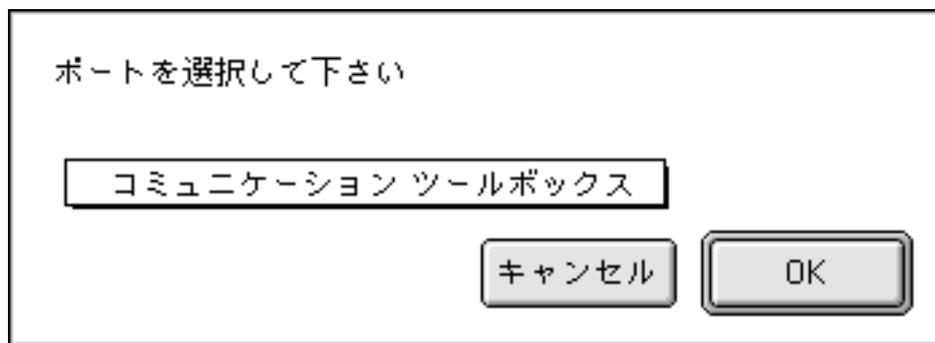
ActiveTalk を使用した場合の Active Telnet Tool の設定例をご紹介します。
フリーshell プロバイダの cyberspace.org <<http://www.cyberspace.org>>に
接続してみましょう。

まず、ActiveTalk の設定メニューの「アシスタント...」を選択して下さい。

ログファイルを新規作成するか、どうか尋ねてきます。
新規作成する場合はファイル名を指定して下さい。

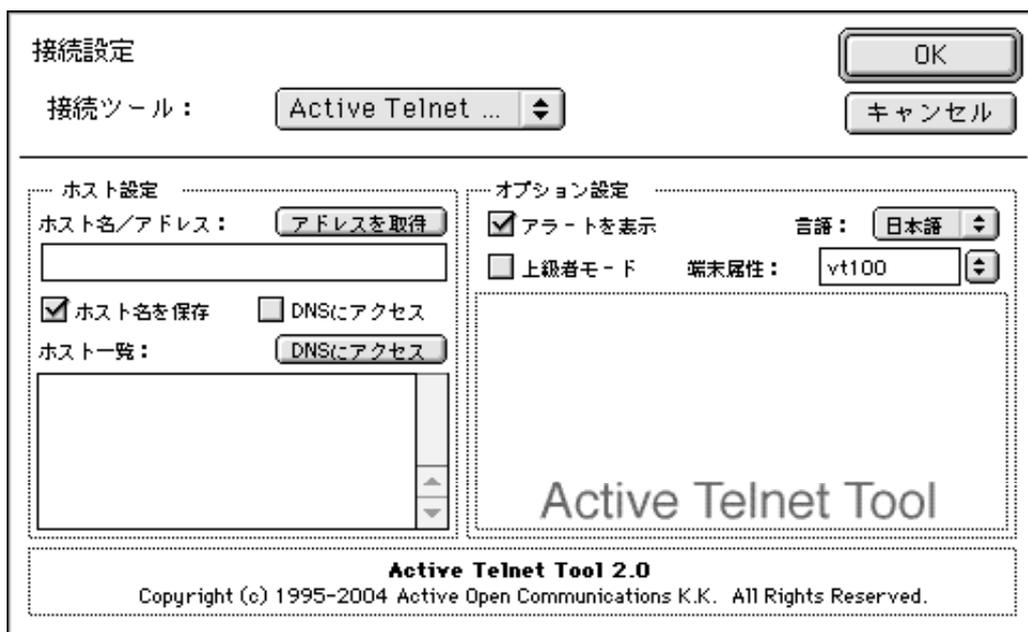


次にポートを選択します。「コミュニケーションツールボックス」を選択して、
「OK」をクリックして下さい。

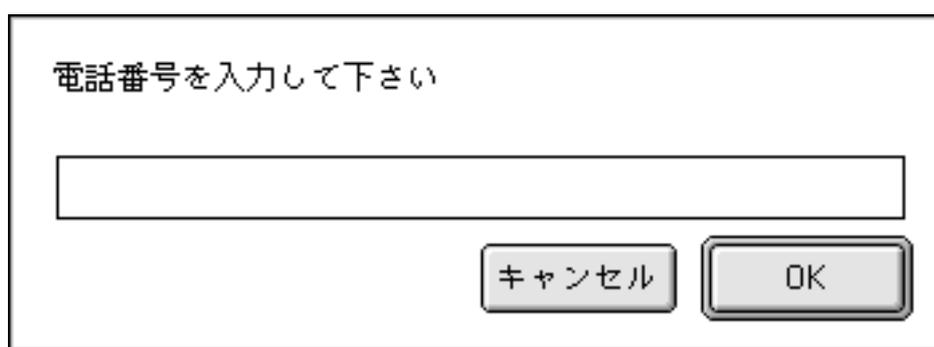


コネクション設定ダイアログが表示されますので、「接続ツール」ポップアップメニューからActive Telnet Toolを選択して下さい。

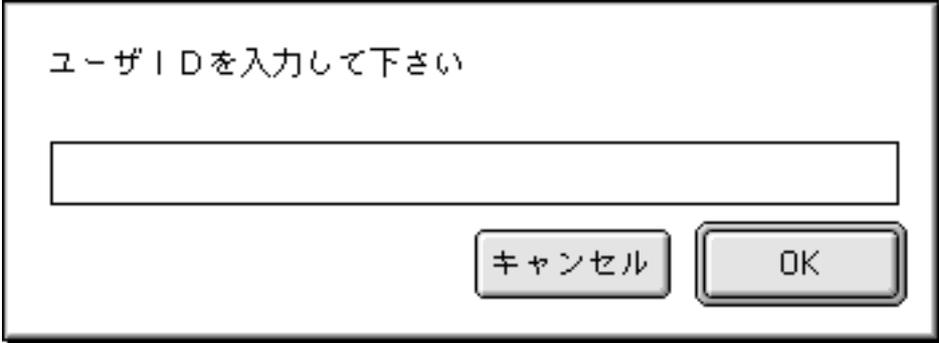
以下のダイアログが Active Telnet Tool 設定ダイアログです。
「OK」をクリックして下さい。



電話番号を尋ねられますので、何も入力せずに「OK」をクリックして下さい。



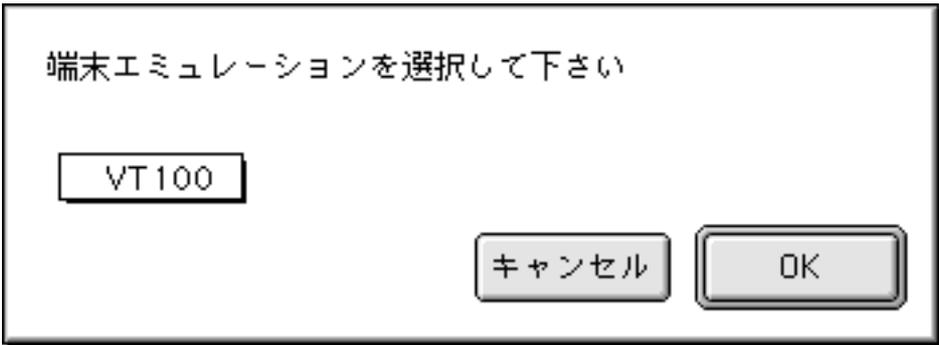
ユーザIDを入力して「OK」をクリックして下さい。



ユーザIDを入力して下さい

キャンセル OK

端末エミュレーションを選択します。「TTY (エミュレーションなし)」「VT52」「VT100」の3種類から選択して下さい。

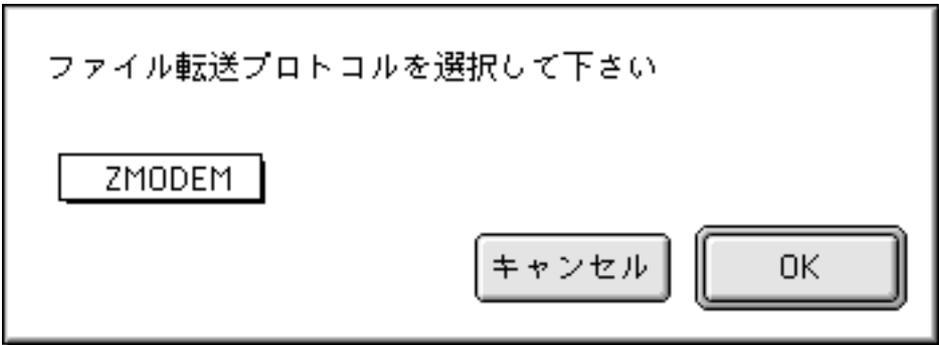


端末エミュレーションを選択して下さい

VT100

キャンセル OK

ファイル転送プロトコルを選択します。「XMODEM」「YMODEM」「ZMODEM」「Kermit」の4種類から選択して下さい。

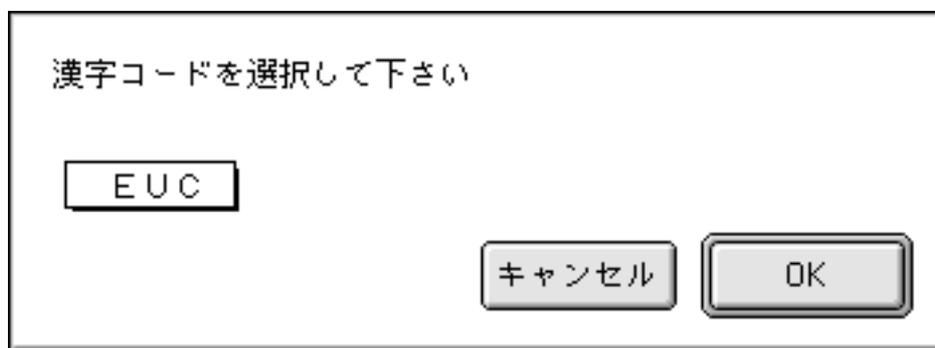


ファイル転送プロトコルを選択して下さい

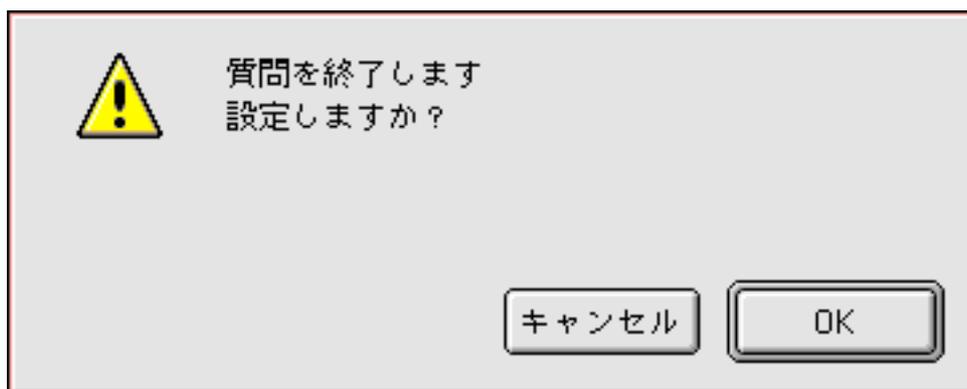
ZMODEM

キャンセル OK

漢字コードを選択します。「シフトJIS」「EUC」「新JIS」「旧JIS」の4種類から選択して下さい。



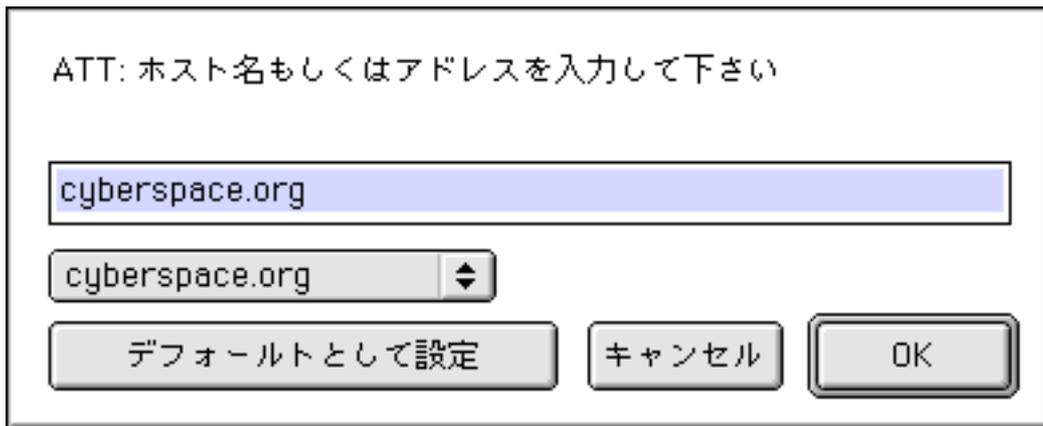
全ての質問は終了しました。設定する場合は、「OK」をクリックして下さい。



これで設定は完了です。初めて Active Telnet Toolを使用する時に、ユーザ登録ダイアログが表示されますのでユーザ登録して下さい。

ログインするには、オプションメニューの「ログイン...」を選択します。

Active Telnet Tool の設定ダイアログで接続先のホスト名もしくはアドレスを設定していない場合、以下のダイアログが表示されます。ポップアップメニューから「cyberspace.org」を選択して、「OK」をクリックして下さい。



「デフォルトとして設定」ボタンは、一部のアプリケーションで設定が不完全な場合に使用します。このダイアログは、ポートオープン時にオプションキーを押しているとき強制的に表示できます。

インターネットとの接続に PPP (Point to Point Protocol) を使用している場合、この時点でインターネットプロバイダに PPP 接続します。以下のダイアログは MacPPP を使用している場合のダイアログです。



*** RLI:Login 04.05.08 14:44:00

GreX central timekeeping. At the beep, the time is
1:44AM on Saturday, 08 May 2004

New to greX? Type help at the login prompt

(ttypc) greX login: user

user's Password:

...

Active Telnet Tool を使用してインターネット経由で cyberspace.org にアクセスできました。

設定ダイアログ

The screenshot shows the '接続設定' (Connection Settings) dialog box for Active Telnet Tool 2.0. It is divided into two main sections: 'ホスト設定' (Host Settings) and 'オプション設定' (Option Settings).
- **接続ツール:** Active Telnet ...
- **ホスト設定:** Includes a text field for 'ホスト名/アドレス' (Host Name/Address) with an 'アドレスを取得' (Get Address) button. Below it are checkboxes for 'ホスト名を保存' (Save Host Name) and 'DNSにアクセス' (Access DNS), and a 'ホスト一覧' (Host List) area showing 'r2.niftyserve.or.jp'.
- **オプション設定:** Includes checkboxes for 'アラートを表示' (Show Alerts), '上級者モード' (Expert Mode), 'Telnetプロトコルを使用' (Use Telnet Protocol), 'Telnetメニューを使用' (Use Telnet Menu), and 'Telnetオプションを表示' (Show Telnet Options). It also features a '言語' (Language) dropdown set to '日本語', a '端末属性' (Terminal Attributes) dropdown set to 'vt100', a 'バッファ' (Buffer) dropdown set to '32K', and radio buttons for 'TCPポート' (TCP Port) set to 'Telnet' (port 23) and 'WILL DO'. There are also checkboxes for 'バイナリ' (Binary), 'エコー' (Echo), and 'GAを抑制' (Suppress GA).
- **Footer:** 'Active Telnet Tool 2.0 Copyright (c) 1995-2004 Active Open Communications K.K. All Rights Reserved.'

ホスト設定

ホスト名/アドレス:

ホスト名/アドレス

接続先のホスト名もしくは IP アドレスを指定します。NIFTY-Serve のホスト名は r2.niftyserve.or.jp、IP アドレスで指定した場合は、192.47.24.60 です。

アドレスを取得

上記の「ホスト名/アドレス」で指定されたホストの IP アドレスを取得し、表示します。

ホスト名を保存

ホスト名を保存

システムフォルダ直下の Hosts ファイルに、ホスト名及び IP アドレス情報を追加します。もし、Hosts ファイルが存在しない場合は新たに作成されます。

Hosts ファイル例：

```
r2.niftyserve.or.jp. A 192.47.24.60 ; Active Telnet Tool
```

ホスト名が保存されるタイミングは、Active Telnet Tool がポートを正常に開けた時です。

DNS にアクセス (チェックアイテム)

DNSにアクセス

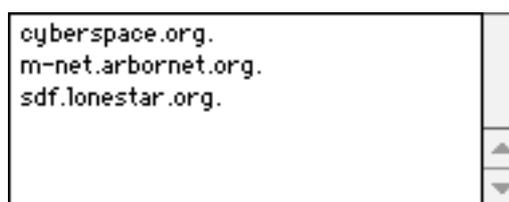
Active Telnet Tool 設定ダイアログを表示した時に、自動的に DNS (Domain Name Server) にアクセスする場合に、チェックします。

DNS にアクセス (ボタンアイテム)

DNSにアクセス

DNS にアクセスして、最新情報をホスト一覧に表示します。

ホスト一覧



DNS を使用して取得した、ホスト名の一覧を表示します。マウスでホスト名をクリックすることによって、接続先を指定できます。

オプション設定

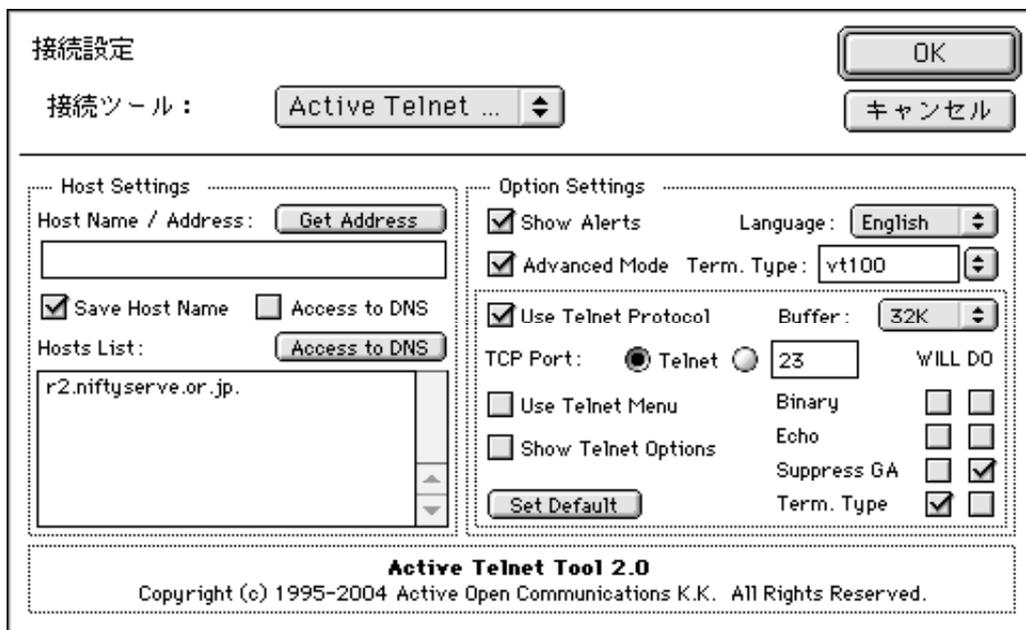
言語



ダイアログの表示言語を指定します。指定可能な言語は「英語」と「日本語」です。

日本語 Mac OS を使用している場合は「日本語」が、その他のシステムでは「英語」がデフォルトです。英語に切り替えたい場合は、ポップアップメニューをクリックして、「英語」を選択して下さい。

ダイアログは、仕様上の制限により ActiveTalk 等のように動的に英語には変更できませんので、一度「OK」を押して終了してから、再度ダイアログを表示させて下さい。英語に切り替えると、以下のようなダイアログになります。



アラートを表示

アラートを表示

Active Telnet Tool は、アプリケーションのメモリ内に実行コードがロードされるため、メモリが不足することが有り得ます。システムエラーを未然に防ぐために、接続時にアプリケーションメモリが足らなかつたり、空きが100Kバイト以下になった場合、アラート（警告ダイアログ）を表示します。このチェックアイテムをオフにすれば、これらのアラートは表示されません。

上級者モード

上級者モード

このチェックアイテムは、上級者向けの設定アイテムの表示をオン・オフするためのアイテムです。Lite 版では、上級者モードのアイテムを変更できません。

端末属性

端末属性：

```
unknown
tty
vt52
vt80
• vt100
vt102
vt220
vt320
```

Telnet プロトコルの端末属性オプションで通知する端末名を指定します。デフォルトは「vt100」です。

オプション設定（上級者モード）

上級者モードのアイテムは「上級者モード」チェックアイテムがチェックされている時に表示されます。Lite 版では、上級者モードのアイテムを変更できません。

Telnet プロトコルを使用

Telnetプロトコルを使用

Telnet プロトコル（IAC ハンドリング）を使用する場合にチェックします。

バッファ

バッファ：

4K
8K
16K
• 32K
64K
128K

MacTCP の受信バッファサイズを指定します。
デフォルトは 32K です。

TCP ポート

TCP ポート： Telnet

Telnet のポート番号を指定します。Telnet ラジオボタンが選択されている場合、23 が使用されます。右のラジオボタンを選択することで、任意のポート番号を指定できます。（例：FTP の場合は 21）

メニューを使用

Telnetメニューを使用

アプリケーション中で、Telnet メニューを使用した場合にチェックします。
以下の Telnet メニューがアプリケーションメニューの最右端に表示されます。



Telnet メニューを使用して RFC 854 で規定されている Telnet コマンドを発行したり、回線の切断、IPアドレスの送信が可能です。

Telnet オプションを表示

Telnetオプションを表示

Telnet のオプションを表示させる場合にチェックします。

以下の例は、Ethernet 経由で SunOS にアクセスした場合のオプション表示です。

```
[SEND WILL TERMINAL TYPE]
[SEND DO SUPPRESS GO AHEAD]
[RECV DO TERMINAL TYPE]
[RECV WILL SUPPRESS GO AHEAD]
[RECV WILL ECHO]
[SEND DO ECHO]
[RECV DO ECHO]
[SEND WILL ECHO]
```

SunOS UNIX (aslsa)

```
[RECV WILL ECHO]
[RECV DONT ECHO]
[SEND WONT ECHO]
```

login:

Telnet オプション

	WILL	DO
バイナリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エコー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
GAを抑制	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
端末属性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Telnet プロトコルのオプションの初期設定値を指定します。

WILL は、自分（マックもしくは Telnet サーバ）からの要求であり、DO は相手（Telnet サーバもしくはマック）への指示です。

例えば、WILL ECHO は「エコーさせて欲しい」と相手に対して要求し、DO ECHO は「エコーして下さい」と相手に指示します。Telnet オプションを受け取った受信者側は WILL に対して DO もしくは DON'T、DO に対して WILL もしくは WON'T で返答してきます。

WILL に DO で、DO に WILL で返答した場合、オプションは有効となります。WILL に DON'T で、DO に WON'T で返答した場合、オプションは無効となります。

Active Telnet Tool では、Telnet オプションのオプション 0 のバイナリ（BINARY）、オプション 1 のエコー（ECHO）、オプション 3 の GA を抑制（SUPPRESS GO AHEAD）、オプション 24 の端末属性（TERMINAL-TYPE）をサポートしています。

Telnet オプションの一覧は「Telnet RFC 一覧」をご覧ください。

初期設定

初期設定

「初期設定」ボタンをクリックすると、上級者モードのアイテムを初期設定値に戻します。

スクリプティングインターフェース

Communication Toolbox のスクリプティングをサポートしている通信ソフトウェアを使用して、Active Telnet Tool に対してスクリプトで設定を変更できます。

スクリプト言語は、英語と日本語が使用できます。

Lite 版では、以下の上級者モード用スクリプトの変更はできません。

英語スクリプト

UseTelnetProtocol
TelnetPort
OtherPort
UseMenu
ShowOption
WillBinary
WillEcho
WillSuppressGA
WillTerminalType
DoBinary
DoEcho
DoSuppressGA
DoTerminalType
TCPBufferSize
TerminalType

日本語スクリプト

Telnet プロトコル
Telnet ポート
その他ポート
メニュー使用
オプション表示
Will バイナリ
Will エコー
WillGA 抑制
Will 端末属性
Do バイナリ
Do エコー
DoGA 抑制
Do 端末属性
TCP バッファサイズ
端末属性

英語スクリプト

HostName

フォーマット : HostName Host_Name / Host_Address

サンプル : HostName r2.niftyserve.or.jp

SaveHostName

フォーマット : SaveHostName TRUE / FALSE

サンプル : SaveHostName TRUE

AccessDNS

フォーマット : AccessDNS TRUE / FALSE

サンプル : AccessDNS TRUE

ShowAlert

フォーマット : ShowAlert TRUE / FALSE

サンプル : ShowAlert TRUE

AdvancedMode

フォーマット : AdvancedMode TRUE / FALSE

サンプル : AdvancedMode TRUE

UseTelnetProtocol

フォーマット : UseTelnetProtocol TRUE / FALSE

サンプル : UseTelnetProtocol TRUE

TelnetPort

フォーマット : TelnetPort TRUE / FALSE

サンプル : TelnetPort TRUE

OtherPort

フォーマット : OtherPort 0 – 65535

サンプル : OtherPort 21

UseMenu

フォーマット : UseMenu TRUE / FALSE

サンプル : UseMenu TRUE

ShowOption

フォーマット : ShowOption TRUE / FALSE

サンプル : ShowOption TRUE

WillBinary

WillEcho

WillSuppressGA

WillTerminalType

フォーマット : WillBinary TRUE / FALSE

サンプル : WillBinary TRUE

DoBinary

DoEcho

DoSuppressGA

DoTerminalType

フォーマット : DoBinary TRUE / FALSE

サンプル : DoBinary TRUE

TCPBufferSize

フォーマット : TCPBufferSize 4K / 8K / 16K / 32K / 64K / 128K

サンプル : TCPBufferSize 32K

TerminalType

フォーマット : TerminalType unknown / tty / vt52 / vt80 / vt100 /
vt102 / vt220 / vt320...

サンプル : TerminalType vt100

日本語スクリプト

ホスト名

フォーマット： ホスト名 ホストの名前 / ホストのアドレス
サンプル： ホスト名 r2.niftyserve.or.jp

ホスト名保存

フォーマット： ホスト名保存 あり / なし
サンプル： ホスト名保存 あり

DNS アクセス

フォーマット： DNS アクセス あり / なし
サンプル： DNS アクセス あり

警告表示

フォーマット： 警告表示 あり / なし
サンプル： 警告表示 あり

上級者モード

フォーマット： 上級者モード あり / なし
サンプル： 上級者モード あり

Telnet プロトコル

フォーマット： Telnet プロトコル あり / なし
サンプル： Telnet プロトコル あり

Telnet ポート

フォーマット： Telnet ポート あり / なし

サンプル： Telnet ポート あり

その他ポート

フォーマット： その他ポート 0 – 65535

サンプル： その他ポート 21

メニュー使用

フォーマット： メニュー使用 あり / なし

サンプル： メニュー使用 あり

オプション表示

フォーマット： オプション表示 あり / なし

サンプル： オプション表示 あり

Will バイナリ

Will エコー

WillGA 抑制

Will 端末属性

フォーマット： Will バイナリ あり / なし

サンプル： Will バイナリ あり

Do バイナリ

Do エコー

DoGA 抑制

Do 端末属性

フォーマット： Do バイナリ あり / なし

サンプル： Do バイナリ あり

TCP バッファサイズ

フォーマット： TCP バッファサイズ 4K / 8K / 16K / 32K / 64K / 128K

サンプル： TCP バッファサイズ 32K

端末属性

フォーマット： 端末属性 unknown / tty / vt52 / vt80 / vt100 / vt102 /
vt220 / vt320...

サンプル： 端末属性 vt100

Q&A

Q : Active Telnet Tool を使おうとしても強制的に終了してしまいます。

A : Active Telnet Tool は、1 ライセンスで一つ使用できます。

Q : Active Telnet Tool がサポートする通信ソフトは？

A : 日本語通信ソフトとして弊社の ActiveTalk を、英語通信ソフトとして Communicate Lite 1.5 / MacIntercomm 1.0 / MacTerminal 3.0 / MacIntercomm Lite 1.1.1 / MicroPhone Pro 2.1 / MacMultiCom 1.0 / PacerTerm 1.0.3 / TCP/Connect II 2.1 / MacCIM 2.4.3b をサポートしています。基本的に Communication Toolbox のコネクションツールをサポートしている通信ソフトであれば使用可能です。

Q : ポートを開けません。

A : アプリケーションメモリが足りない場合、ポートを開けないことがあります。ファインダの「情報を見る...」を使用して、通信アプリケーションのメモリサイズを 300 K から 1 M バイト程度増やして下さい。

サポート窓口

インターネット窓口

最新情報やライセンスキー購入方法は <http://www.activeopen.co.jp> をご覧下さい。

セールスに関するご質問や、ユーザサポート、キーウェア版の CD-ROM 等への添付については、電子メールで activeopen@mac.com 山田宛に、もしくはお電話 (03-5337-7665) でご相談下さい。

リリースノート

2.0 5/8/2004

ActiveWare 版 Active Telnet Tool イニシャルリリース